



▲グラフィックデザイナーのシュエさん

地域おこし協力隊の敷田です。田舎暮らし入門住宅「のまど間」(門前)が4月にオープンしました。のまど間では、大山町の生活に興味のある単身の方が滞在しています。滞在者の一人、シュエさんにお話をうかがいました。

# いま! 大山町に 注目が集まっています ～「のまど間」～



こんにちは。私はシュエです。大山町田舎暮らし入門住宅「のまど間」にしばらくの期間滞在しています。私の生まれは中国で、10年前にカナダのトロントへ移住しました。私の職業はグラフィックデザイナーですが、パソコンとインターネットのおかげで、世界中のどこにいてもデザインの仕事をすることができます。

大山町は、今年に入って3回目(1)の訪問・滞在です。今となっては第2の故郷だとさえ感じるほどです。

この町は海と山が近いところが本当に好きです。毎日、自転車でスーパーに買い物へ行くのですが、途中、つつい寄り道してしまいます。田んぼや海岸に立ち寄っては、蛙の鳴き声、川の流れる音、そよ風、気持ちの良い雨、夕焼けの雲などを楽しんでいます。正直なところ、ここへ来た当初は、仕事中にいろいろな虫が部屋の中に飛び込んでくるので、そのたび悲鳴をあげていましたが、最近は大いぶ慣れてきました。虫といえば、この夏にホテルを生まれて初めて見て、とても感動しました。この環境のおかげでしょうか、大山町に来てから、良いデザインにつながるひらめきを得ることが多いのです。



▲手作りケチャップをビンに詰めて(中央がシュエさん)

「のまど間」には、おすそ分けの野菜や食べ物が届くことは珍しくありません。みなさんとても優しく、ご近所の橋本さん、角田さん、林原さんはいつも気にかけてくださいます。

この町の人々は、私にとって生活の知恵の先生です。私は遠藤さんから豆腐づくりを、小島さんからケチャップづくりを、高見さんには釣りを教えてもらいました。

これら全てが、カナダの都会暮らしでは体験できなかったもので、本当に魅力的に感じます。

9月に帰国しますが、ぜひまた来年には戻ってきて、デザインを通じて町の方々と積極的に交流したいです。

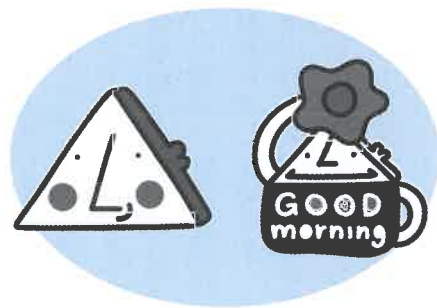
私にこの町を紹介してくれた友人と、田舎暮らしを体験させてくれる「のまど間」に、心から感謝します。

シュエ・フェン

◆問い合わせ先  
企画情報課未来づくり戦略室  
(敷田・小谷)  
080・2942・6517

◆問  
今後、田舎暮らし入門住宅「のまど間」の応援をよろしく願います!

シュエさんは、仕事の合間に町をPRするTシャツのデザインを地域の人と一緒に手がけたり、LINEスタンプを作成したりと、デザインの才能を活かして、大山町の魅力発信に貢献してくださっています。のまど間では、このように外部から訪れて滞在する人が、地域で生活をしながら、地域の人と一緒になって大山町を盛り上げていくカタチをたくさんつくりたいと思っています。



▲シュエさんデザインの大山をモチーフにしたLINEスタンプ「ぜひぜひ大山町」